

## 中国に鶏卵加工会社 日本向けの輸出も

### 太陽化学

太陽化学(山崎長宏社長)は、香港資本と折半出資で、中国・天津市に鶏卵加工品の製造販売会社を設立した。同社の中国での子会社設立は、開封市、無錫市に次いで3社目。

これは天津市北辰区の北辰科技园区内にある既存の鶏卵加工工場と、その隣接地を買収したもので、現在約4000坪の敷地内に液

卵、粉末卵のラインを持つているが、今冬には増設を予定している。

粉末卵、凍結液卵、濃縮加工液卵などを中心に、当面は現地の日系企業へ製品を供給するほか、日本向けに輸出する。

同社では「新鮮な原料鶏卵を天津市郊外や河北省の養鶏場から入手し、現地飼料メーカーと提携して種鶏・飼料から衛生管理システムまで、トレーサビリティの確立した工場を立ち上げる」という。

5年後には原料卵換算で、約3万5000トンの鶏卵加工を計画し、これが実現すれば中国では最大規模となる。

今回の子会社設立は、すでに進出している河南省の食品加工工場と共に、中国市場における食品原料素材の供給体制の充実を図ることになる。

新設立の合弁会社は、太陽食品(天津)有限公司、資本金約2億7000万円、従業員約50人。